

広島市私立保育協会青年会議委員会は 全私保連保育運動 「新しい時代は子どもから」を 推進する活動を行いました



広島市・広島コンベンションホールにて、広島テレビ放送を中心とした子育てに関する各種団体・企業からなる《子育て応援団》が主催するイベント「すこやか 2024」が2024年5月25・26日の2日にわたって開催されました。広島市青年会議委員会は「工作あそびコーナー」を担当しました。

「工作あそびコーナー」は、かねてより好評をいただいていたコーナーということもあり、今年から制作スペースを広げてもらい、さらに保育士養成校3校よる学生ボランティアスタッフ数は2日間で30名と昨年より多く協働していただきました。また、今年の来場者数は2日間でおよそ15,800名、そのうち「ふれあいゾーン」は1,817組とたくさんの親子連れに楽しんでいただくことができました。



今年は、広島市青年会議委員会で、全私保連の保育運動で提唱している「新しい時代は子どもから」を発信していきたいと思い、青年会議委員会スタッフが「新しい時代は子どもからTシャツ」を着て、そして制作スペースにはポスターを掲示して発信しました。「工作あそびコーナー」は“親子のふれあい”を大切に、親と子どもが工作に熱中したり、一緒になってどうしたいかを考えたりと、親子の笑顔溢れる場所になりました。

来年は「新しい時代は子どもから」を引き続き発信しつつ、さらに保育の仕事の魅力を通して、子どもの育ちを見る楽しさを社会に発信していきたいと考えています。

(東岸昌真／広島市私立保育協会青年会議委員会)

こども まんなか

全私保連は、
「こどもまんなか応援サポーター」
宣言を行いました。